

被災地の近況報告

－宮城県東部でのボランティア活動を通して－

石川 薫
志乃

1 自己紹介

2 被災体験

2-1 3月11日(金)当日

2-2 ライフラインのこと

3 ボランティア活動について

塩釜市でのボランティア活動

4 主婦、母親という立場でのボランティア活動

4-1 主婦としての葛藤

4-2 避難所(門脇中学校)でのボランティア活動

- ① 「お湯だし」ボランティア
- ② 避難所の様子
- ③ 避難所で生活している人の様子

4-3 仮設住宅(ひびき工業団地)でのボランティア活動

- ① 仮設住宅の位置、様子
- ② 「カリタス・カフェ」ボランティア
- ③ 仮設住宅で生活している人の様子
- ④ 家族総出のボランティア活動
- ⑤ クリスマス間近のカフェでのこと

5 おわりに

大川小学校に供えられた詩

(作者不詳、前文)

ここへくれば きこえてくる
きみたちのうたごえ あそぶこえ
ここえくれば いつでもみえる
きみたちの はしるすがた

バイバイを 言えずに 行ってしまった
きみたちを
また あしたあそぼうねと いえなかった
きみたちを

ぼくは ぼくたちは わたしたちは
いまも さがしている

すべてが かわってしまった あの
きんようびに
じかんを まきもどして きみたちを
むかえにいきたい

そうすれば ずっと いつまでもずっと
いっしょにいられたかな

しずまないふねにのって いまからむかえに行くね
こわれないおうちをたてるから いっしょにすもうね
もうこわくない もうひとりにしない

だから もどっておいでよ